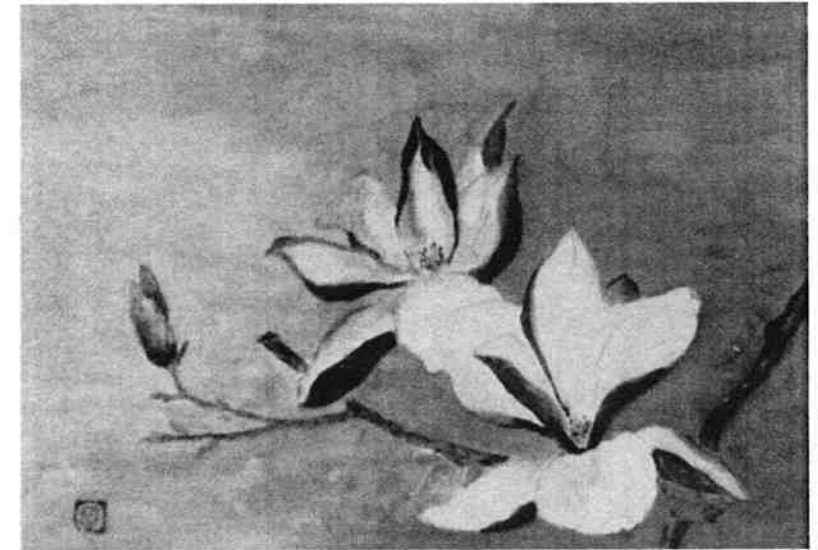


ふれあい雪谷

平成23年 4月 さくら号 通巻第82号



もくれん
木蓮

東雪 永久保 宣義さんの作品

母校の思い出 42

私の母校は、比内鶏ときりたんぼで少しばかり名の知られている、秋田県北部の比内町というところです。



中学校は達子森という山があり、町のどこからでも見ることができます。学校の周囲は田んぼで、すぐそばを花輪線が通っていました。今の季節になると思い出すのは、線路に雪が積もるとラッセル車が通って右と左に雪が散りそれは美しかったこと…。私はラッセル車の通る時間には、勉強よりも目を凝らして待ったものでした。また、教室は薪ストーブでした。薪小屋まで一列に並んで、教室まで手渡して薪を運びました。

屋近くなるとストーブの上で弁当を温めます。お腹が空いた頃になるとなんとも異様な臭いが…。それは納豆とタクアンの弁当の臭い。一人の男子が「またかあ。もう我慢できないよ」と言うと、「俺のじゃない」「私の弁当じゃない」とみんなで下を向いて笑いました。おかしかったなあ。たまにカレーライスの匂いがすると、「食べたいよう」と叫ぶ男子がいました。45人の楽しい仲間達でした。昨日の事のように、今年は古希を迎える年となりました。

古希を記念して、故郷では幹事たちが皆を集めます。地元の神社でお祓いをしてから達子森に登り、汗をかいたところで地元の温泉に入って、比内鶏のたっぷり入ったきりたんぼと地酒でお祝いをすること。酒が進むと「どんぱん節」を歌い、比内町伝統の盆踊りを踊ります。

それまでは膝が痛い、腰が痛いなどと言ってはられません。あの薪ストーブの中学生達に会うために。

ちなみに母校は現在、町の公民館となり、一部残っています。
(石川台・永久保貞子)

お詫びと訂正

「ふれあい雪谷」平成23年新年号の「東雪自治会・紹介」の掲載内容に誤りがございましたので、訂正致します。
誤り 「世帯数約300世帯」 → 正 「世帯数約3,000世帯」

「ふれあい雪谷」の編集委員が替わりました。

小池自治会 (旧) 沼本 光史 (新) 原 龍興

編集後記

桜のシーズンになると新聞のテレビ番組表に「新」の文字が見られます。視聴率が悪いとか時代にそぐわないということで番組がリニューアルされるのです。翻ってみるに「ふれあい雪谷」では誌面の刷新がはかばかしくありません。読んでくださる皆様の要求にお答えするのが編集に携わるものの心構えです。皆様からの忌憚のないご意見を常にお待ちしています。
(笹丸・荒井啓治)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日)年4回発行
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)
[発行日] 平成23年(2011年)さくら号 4月1日(通巻・第82号)発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

私の健康法 41

歩け歩けの毎日

「人生に定年はない。そして今こそ黄金期ときめて、一日一日を大いに悔のない日を送ることを心がけよう。」と教えて下さった方は、私の尊敬するただ一人の方の教訓です。その言葉を心にききながら八十歳もなかなばとなりまして。

日々よく歩き、家にあつては「和紙のちぎりえ」に取り組み、何と一日の早いことが、ただただ感謝の毎日でございます。

昭和四十年に当地にうつり住んで早四十何年、大すぎな東雪谷は私にとりまして最高の生活環境です。そして、自転車に乗れない私は、玄関を出ると歩け歩けの毎日



です。しかも坂の多い当地は私にとりまして最高の外出です。何かの時は孫や息子の車に乗っての外も美しい風景にめぐまれた所に感謝の日々です。友人も多いのでたづねたり又たづねられたり、そして新聞や色々な本の記事を共に語り合う、たのしい毎日です。こんな私ですがすべてに感謝の思いを胸にしながら、つづらせていただきます。大変に有りがとうございまして。

(希望ヶ丘・植竹光子)

サークル紹介 49

年寄り〇〇と無縁のうろ(烏)つかなない熱年サークル

昭和55年春に発足した雪谷棋友会は、常時35〜40名の会員にて、毎週木曜日の午後のひととき烏鷲の争いに励んでいます。会員は中高齢の方々がほとんどですが、囲碁の効果あらたかに



で身はともかく、心は全員健康の方々がばかりであることが自慢です。棋力的には初級者から高段者まで各自の差は有りますが、ゴルフなど

と同様、ハンディが合理的でありますので、棋力差には関係なく手合を楽しんでいます。その昔プロ棋士の長老が30年前の棋譜を覚えておられたことや、現役のプロが一局一局に吐血の努力をされているのと異なり、我々アマは戦い終えて碁石を碁等に入れたらお仕舞いでありますので、タバコ1ダースほどの年会費で、日頃のストレスを解消するには、最高の方法ではないかと思っています。

もし、当会への入会の気持ちをお持ちで有りながら、当番その他で負担への懸念が有りの方は、負担軽減制度も有りですので、一度ご見学ということでお覗きください。

(南雪谷・藤川 魏)

大森十中避難所運営協議会防災訓練

大森十中避難所運営協議会では、昨年11月14日、大森第十中学校柔剣道場にて防災訓練を行いました。

今回の訓練は特に「災害時要援護者」向けに行われました。高齢である、或いは障害をもっているなどの理由で、災害の避難時や避難所での生活に援護が必要となってくる方々に向けての訓練でした。要援護者向けの避難訓練は初めてのことで、今回の訓練の目的は、「要援護者とその家族に避難所の場所と災害時の状況を知ってもらう」こととしました。事前に自治会婦人部のメンバーがプリントを配布して防災訓練のお知らせをし、当日は、要援護者と家族の皆さんに家から避難所である大森第十中学校まで徒歩で来てもらいました。



海老澤会長の話を聞く

大森第十中学校の体育館は3階建てで、実際に災害が起きた場合は1階の柔剣道場から、避難所として、開放されることになっています。その柔剣道場の床に災害時に実際に使用する銀色の薄いシートを敷き詰めまずは参加者に決して快適とは言えない座り心地を体験してもらいました。

その後、避難所運営協議会の運営委員長である海老澤さんから避難所に関する説明が行われました。

「家を失った場合、大森十中が避難所となること・備蓄の食料は二千食、家を失った人の一日分を想定した量であること・避難所は基本的には自分たちの手で運営していくこと」等の話があり、最後に「災害直後は行政も全ての範囲に目が行き届く訳ではない、要援護者に限らず、普段からの備え、近所との交流自助努力が大切」という点が強調されました。説明の後は「家具転倒防止」DVDの上映消防署によるデモンストレーションが行われ終了となりました。

大森十中避難所運営協議会は、災害直後の避難所設置を円滑に行うことを目的に、この十数年来、月に1回例会を開いて、さまざまな話し合い・訓練を行っております。これまでに、「避難所マニュアル」の作成・初期活動訓練・トイレや水に関する訓練・救急手当の訓練等を行ってきましたが、一昨年から外に向けて自助意識を広めるための広報活動に重点をおいております。

今回訓練の反省では「参加した人にとっては有意義であったが今回参加しなかった人も多数いる」という意見が出されました。要援護者の実態を正確につかみ、連絡をするのはプライバシーの問題もあり、容易なことではありません。まずは広報の浸透、その後は地元の施設・企業等との連携を視野において援護活動の方向を探ることが課題です。

(上池上・橋爪とし子)

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災されました方々に対して、心からお見舞い申し上げます。

雪谷地区自治会連合会

天空列車に乗って

昨年6月、NHKでも放映された天空列車(青海(せいかい)チベット鉄道)に乗って、中国チベット自治区の拉薩(らさ)へPRされていない乗り鉄チャン旅行に行ってきました。



青海チベット鉄道

西寧(せいねい)から1956kmを26時間かけ標高5000mを越える高原地帯(内550kmは凍土地帯)を列車に乗って、富士山より高い都市拉薩ヘディーゼル車は米国GE製で、4000馬力、客車はカナダボンバルディア社製(与圧設備・酸素吸入設備搭載)で高所仕様の列車でした。

但し、中国の人達が水洗トイレの使い方が分からないのか、常に故障しており、この点だけが不満な天空列車でした。

崑崙(こんろん)山脈の美しい夜明けを見、又乾燥地帯から凍土地帯(雪も降り)又塩水湖や青い湖、世界一高い駅(タングラ駅で5068m)を通過し、ニエンチエンタングラ山(7162m)山頂には雪が、又この山のはるか南には世界の最高峰エベレスト山がある



ポタラ宮殿

と思うと感慨無量で、随分遠くへ来たと感じました。

参加者20名の内7名は、拉薩到着夜、高山病の症状が出て、ホテルで点滴等を受ける状況で、翌日のポタラ宮殿(歴代ダライラマの宮殿で世界遺産)観光(入場するのに300段の階段を登る)でも4名が途中で引き返した。

現地では1人に1本酸素ボンベが配られ、高所である事を実感。なかなか経験出来ないチベット旅行であった。

(小池・須網俊一)

5月11日(水)～20日(金)まで『春の全国交通安全運動』が始まります

◆◆急増！自転車事故！自転車による主な交通違反の罰則◆◆

- ・酔っぱらい運転 → 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金。
- ・夜間の無灯火走行 → 5万円以下の罰金。
- ・2人乗り運転 → 2万円以下の罰金又は科料。
- ・傘を差しての片手運転 → 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。
- ・携帯電話、メールしながらの運転 → 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。

(道路交通法で決まっていなかったが、安全運転義務違反に)

- ・信号無視 → 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。
- ・並んで走る → 2万円以下の罰金又は科料。
- ・歩行者妨害(歩行者への注意や徐行の怠り) → 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。
- ・一時停止違反 → 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。

他、詳しくは自転車の交通違反罰則のホームページをご覧ください。

お互いに交通ルールを守り安全運転をしましょう！



自治会だより

東雪谷東中自治会・紹介

当自治会は、雪ヶ谷町会、東中文化会等の名称を経て、昭和23年11月に東雪谷東中自治会として発足、平成13年6月に大田区の地縁団体の認可を受け、非営利法人として今日に至っております。

自治会の区域は、北側は東急池上線を境に笹丸自治会、東側はおおよそ池上線変電所及び洗足流れを境に池の台自治会、南側は東中公園前路地と田園調布消防署雪谷出張所より西に下る路地を境に東雪谷自治会、西側は、中原街道より南にのびる荏原病院前に行くバス通りの一本西側の路地を境に希望ヶ丘自治会に接する、住居表示上では東雪谷1丁目から4丁目にまたがっております。

私達の東雪谷東中自治会東雪谷会館は、昭和52年に雪ヶ谷地区在住の有志の皆様の賛助金で完成、土地も平成6年に直井源幸氏よりご寄付いただきました。

この東雪谷会館を拠点として、約1,500世帯、約3,300名弱の構成メンバーの為に、東雪谷東中自治会は、会員相互の協力により、親睦と福祉の向上をはかり、豊かな住みよい環境の継続と形成に資する事を目的として、防災、防犯、交通安全、環境、青少年、文化厚生及び広報の各部を組織し活動しております。

主な行事は、交通安全運動、防犯パトロール、防火防災訓練、新入児童祝う会、夏休みラジオ体操会、長寿祝品贈呈、料理教室、ボーリング大会、バス旅行、祭礼、スポーツ祭等あり、掲示板及び回覧の「東中だより」で告知しています。

(東中・田中英雄)



俳句

小池小学校今春卒業生・6年生の皆さんの作品

- 水たまりうつった景色は桜かな (大西麻未)
- 桜の木ピンクの晴れ着で胸を張る (三上由子)
- 入学だうれし桜の花吹雪 (齋藤昌史)
- 桜見て夢語りあう友達と (本間茜)
- 春風にふかれささやく若葉たち (荒川悠人)
- 緑色の頭がでている春の山 (岡崎美琴)
- 春風がぼくのおでこをなでていく (西川高史)
- ポカポカ日たんぽぽさんがこんにちわ (三木莉香子)
- 入学式黄色いばうしの花がさく (加藤萌々)